

新一年生が入学します

しばらく寒い日が続きますが、暦のうえでは、春が訪れた六日（金）に、神浦小学校入学説明会を実施しました。

入学に関して学校から保護者へ説明をしている間、次年度の入学予定者が本校児童といっしょに、給食と全員遊び

を体験しました。今回の活動を企画したのは、四月から最高学年になる五年生です。

四月から小学校に入学してくる二人の園児が不安よりもワクワクした気持ちを持ってもらうために、給食のお世

話、レクリエーションの企画を一生懸命考えていました。

最初は、緊張ぎみの入学予定者でしたが、神浦小の先輩たちの優しい声掛けや楽しい遊びに、たくさんの笑顔を見ることができました。

きつと二人の園児も四月からの入学を心待ちにしてくれていると思います。入学式がととても楽しみです。

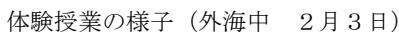
地域の方々には、児童の見守り、応援、そして環境面での支援などお世話になっていきます。今後もしもご支援いただけるとありがたく存じます。

皆様、改めて今後ともよろしくお願ひします。

裏面あり

もうすぐ中学生

外海中学校入学説明会



そんな六年生が、二月三日（火）、田沼に中学校へ入学できるように、外海中学校で行われた入学説明会に参加しました。

中学校では、校長先生からのお話、体験授業、部活動の紹介などが行われました。

お話では「安心して中学生になつてください」という優しい語りかけが印象的でした。

体験授業は、楽しい英語、分かりやすい数学を受講しました。

部活動では卓球やサッカー

が印象に残ったようです。
四月から始まる中学校生活に希望が膨らんだ体験だったようです。

校長室から

去る一月十三日（火）に学校評議員三名に來校いただき今年度の学校経営、及び学校評価の報告を行いました。

ここでも児童のあいさつ、発表などの姿をおほめいただきました。

神
浦
の
風



長崎市立
神浦小学校
文責
校長 津田康史

三学期は「行く」「逃げる」「去る」——あつという間に月日が過ぎていくことを表す言葉です。そのとおりに、一月が行ってしまい、二月も逃げるかのように過ぎていつています。

給食集会

一月二十四日（土）から三十日（金）までは、全国学校給食週間でした。

給食週間は、学校給食の意義や役割を理解させ、給食にかかわる人々に感謝の気持ちをもたせることをねらいにしています。

給食の献立も長崎の郷土料理（鯨やトルコライス等）や姉妹都市の料理（セントポール市のポークビーンズやヴォースロール村のポトフ等）がメニューになりました。

二十六日（月）には、栄養職員の堺先生を招き、給食の歴史、内容、つくる様子などを説明してもらいました。

本校はこれまでほとんど残食がなく、今後もおいしくいただきたいと思えます！

【3月の行事予定】

2日～6日 短縮日課（全学年14：00頃下校）

2日（月）全校集会

3日（火）送別集会

12日（木）卒業式予行練習

13日（金）外海中学校卒業式

17日（火）卒業式会場設営

18日（水）第79回卒業証書授与式（10時開式）

20日（金）春分の日

23日（月）大掃除

24日（火）修了式・離任式

【学校評価から】

12月に行った学校評価について、より詳しく考察をまとめました。

○ 満点（全て4の評価）

「⑥教職員は、児童の悩みや相談に、親身に対応している」「⑨子どもは平和を大切にする心が育っている」「⑩学校は、子どもたち一人一人を大切にしたい教育支援に努めている」「⑫学校は、わかりやすい授業を行っている」「⑬学校は、子どもの安全対策に気を配っている」

5つの項目で満点の評価、特に子どもに直接かかわるところを評価いただき、素直にうれしです。子どものよいところを見つけ、指導する姿勢を徹底させたところがよかったと思います。今後も、子ども一人一人に丁寧に対応していきたいと思います。

○ 改善が必要

「⑮子どもは、家庭でよく読書している」が3.4（児童3.5、保護者3、教師3.7）という結果でした。学校では貸出数の増加、隙間読書（給食後、作業が終わった後など）の推進など向上もみられますが、家庭読書への働きかけがまだ不足しているようです。スピーチでの読書紹介など、子どもが進んで取り組めるようさらに改善に努めます。

○ その他

「①学ぶことの喜びを実感できる子どもたちが育っている」「⑤子どもは、『あ・は・は』運動を知っている」「⑦子どもは、早寝・早起き・朝ごはんを身に付けている」の評価が向上し、ひとまず安心しました。日常の指導の積み重ねを今後も大切にしていきます。

「⑪学校は、地域の人材・伝統・特色を生かした教育活動を行っている」や「⑫学校は、教室・老化等の教育環境に努めている」は、保護者・地域（県民の森など）の協力のおかげで成り立っています。特に今年度は「公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団」から助成をいただき、活用させてもらいました（本当に、ありがたかったです）。

今後も学校だけではできないことも保護者・地域の皆様と力を合わせることで、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。そのために、情報交換等の交流に一層努めていきます。どうぞ、よろしくお願いします。